

二学年通信

第2号
平成31年4月15日(月)

学年目標 それは… ‘メタ化’ した、4つの「っちり」!!

★平成31（令和元）年度がスタートして2週目になりました。新クラスに対する緊張もぼちぼちほぐれ、新しい友人がそろそろできたでしょうか？ それとも一度にやらなくてはならないことや覚えなくてはならないことがたくさんあって、頭がオーバーヒート気味になって、新しいクラスに対する不安が一層高まっているのでしょうか？ 人それぞれだと思いますが、早く生活のリズムをつかんで、安定した学校生活を送ってください。

さて、今号は学年目標を発表しましょう。こちらから一方的に決めさせてもらいますが、それは昨年度同様、4つの「っちり」です。ただ、まったく同じでは進歩が感じられないので、メタ化（「メタ～」……「～の上位にある」「高度の～」の意。1年の時、現代文でやりましたよね）させるべく、冒頭に「さらに」という副詞を付けました。ということで、

「さらに、がっちり登校、ばっちり挨拶、みっちり学習、きっちり服装」

となります。これは、規律ある生活、元気で明るいコミュニケーション、学力養成、服装規定の遵守という高校生活の4つの柱を端的に表現したものです。今年度もこの目標をしっかり守って、有意義な1年間を過ごすことを期待しています。

そのためには何事に対しても「一所懸命」に励もう!

★さて、それでは4つの「っちり」を‘メタ化’するためにはどうすればいいのかというと、何事に対しても「一所懸命に」励むことです。

この「一所懸命」という四字熟語は私の好きな言葉のひとつで、一般には「一生懸命」と表わされることも多いのですが、「一所」の方がもとの意味をよく伝えています。

この言葉は元来、鎌倉時代の武士の生き方に由来すると言われています。当時の武士は、単なる消費者階級に変質してしまった近世（江戸時代）の武士とは異なり「半農半武」、つまり武装した農民集団でした。彼らは平生は鋤（すき）・鍬（くわ）・鎌などを手にして農作業に励んでいますが、ひとたび戦闘となるとそれらを刀や槍・弓矢に持ち替えて戦いました。当時は現代以上に農耕が人々の生活に密着しており、土地の有る無しや良し悪しは死活問題でした。だから、自分たちの所領を上げたいと思ったり、所領を奪おうとする敵が攻めて来たりしたとき、そこに戦いが起こるのです。近世までのほとんどの武士同士の戦いが、西欧のように宗教戦争などのイデオロギーの対立ではなく、土地問題を原因としていることがそれを証明しています。さらに、奉仕する主人（殿様）と従う武士たちとの関係は、いわゆる“give and take”であり、主人は彼らが命懸けで戦ったその恩賞として土地を与えてくれる存在に過ぎず、お家や殿様のために命を捨てるなどということは考えられませんでした。なんだか日本史の授業みたくなりましたが、要するに「一所懸命」という言葉は、このような鎌倉武士の生活を背景に生まれてきた言葉

であり、彼らの「一つの所領を命を懸けて守る」という生き様や精神が刻み込まれているのです。

ところで、私たちの生きている現代は平和な世の中で、土地をめぐる戦いなど考えられなくなりました。しかし、皆さんが命懸けで守るべき所領を失ってしまったかということ、そんなことはありません。今、皆さんは「高校生」という「学籍」を有し、それを基盤とした「座席」が学校にあります。この2つの「せき」が、皆さんの所領です。教室の中の机と椅子はたかだか60cm四方の小さな面積にすぎませんが、「高校入試」という「戦い」を勝ち抜いて手に入れた大切な所領です。ここを土台として「学習」という名の耕作を充分に行うことにより、「進路志望実現」という美しい花を咲かせ、「希望の将来」という貴重な作物を収穫することができます。この所領を肥沃で豊かな実りあるものとするか、また、痩せて荒涼としたものにして失ってしまうかは、皆さんの心掛け次第です。だからこそ学習・部活動・生活などにおいて、この鎌倉武士の精神に学んで「一所懸命」に励むことが、高校生活の‘メタ化’に繋がっていくのです。

ぜひ、ひとりひとりが平成～令和に生きる「サムライ」として、一所懸命に励んでください。



今年度のメイン行事は修学旅行とテーマリサーチ!!

★さて、この1年間、どのような行事がいつ頃にあるのか、ということは年間行事計画表を担任の先生が配布して、すでに伝えてあるはずですが、全般的にはほぼ昨年度と同じ流れになりますが、メインの行事は何と言っても10月に実施される台湾への海外修学旅行と、5月から始まる総合学習「テーマリサーチ」です。詳細については、4月18日（木）の7校時に実施される総合学習ガイダンスで紹介するつもりですが、ここでも簡単に触れておきましょう。

まずは修学旅行ですが、なぜ台湾へ行き、何を学んで欲しいのか、ということは昨年度の「1学年通信Vol.12」で記しました。それに基づいて、これまでは旅行代金を積み立てたり（一括払いの人もいる）、パスポートを取得したり、「台湾研究」をとおして台湾について学んだりしてもらいました。今年度は「台湾研究」その2として、自分たちが訪れる台湾の名所旧跡を調べて「旅行ノート」を作成したり、修学旅行準備としてそれぞれのHRでクラス別コースを立案したり、現地で実施される学校交流の企画を考えたりと、いろいろ旅行に直接関わることを具体的にやる機会が増えてきます。意欲的に取り組めば取り組むほど、修学旅行が充実したものになるということは言わずもがなです。

次に「テーマリサーチ」ですが、これは昨年度の2年生（今の3年生）も実施していたので先輩から話を聞いて知っている、なんて人もいる人もかもしれません。具体的には、今の自分が最も興味・関心を抱いていることや、自分が進もうとしている上級学校での学問・研究または将来の職業に関連する事柄などをテーマとして設定し、調査・研究・発表を行うことによって知識・理解を深めるとともに表現・発表能力の育成を目指していくものです。昨年度に行った「台湾研究」と共通する部分が多いのですが、今年度はプレゼン発表まで実施していく予定です。

これらの他にも進路関係の行事や総合学習の催しがありますが、ガイダンスで説明しますが、いずれにせよ、積極的・意欲的・主体的にこなしていくとともに、中だるみの2学年にならないよう、メリハリをつけて取り組んでいきましょう。